

科目名	Web開発基礎								年度	2024
英語科目名	Web development foundation								学期	後期
学科・学年	I Tスペシャリスト科	1 年次	必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	大石直美			教員の実務経験		有	実務経験の職種		Webエンジニア	
【科目の目的】										
Webコンテンツを通じて効果的な情報発信が可能となる能力を身に着けることは、将来どのような職種、業種へ就職したとしても有意義に生かすことができる。したがって本講義では上記の学習を行い、Web開発の基礎技術を向上させることが目的である。										
【科目の概要】										
本講義を受講する学生は、HTML5とCSS3によるWebコンテンツの作成技法を習得する。昨今のWebコンテンツにおいては広告、宣伝効果が大きく、ビジネス戦略としても重要な位置づけにある。										
【到達目標】										
この科目では学生がHTML 5、CSS 3、JavaScriptなどのWebの仕組みを体系的に理解し、Webコンテンツの作成方法および環境構築方法を具体的に理解できるようになることを目標としている。また、実習課題でWebコンテンツを作成し、発表することでプレゼンテーションに必要な見せ方、パフォーマンス、表現力を身に着け、就職活動やその後の社会活動で活かせるようにする。課題作成を通して学生が自ら調べることや、工夫することを評価する。これにより、実学に基づく問題解決力を養うことを目標とする。										
【授業の注意点】										
本講義では、定期試験結果に加え、学生が自ら積極的に学習する姿勢を評価する。具体的には授業中の積極的な発言、質問、また自主的なWebサイト作成、各種コンテスト出品などの実績を見る。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	HTMLについてしっかり理解できている			HTMLについてある程度理解できている			HTMLについてあまり理解できていない			
到達目標 B	CSSについてしっかり理解できている			CSSについてある程度理解できている			CSSについてあまり理解できていない			
到達目標 C	フォームについてしっかり理解できている			フォームについてある程度理解できている			フォームについてあまり理解できていない			
到達目標 D	レイアウトについてしっかり理解できている			レイアウトについてある程度理解できている			レイアウトについてあまり理解できていない			
到達目標 E	これまで学んだ知識を活かししっかり総合制作ができる			これまで学んだ知識を活かしある程度総合制作ができる			これまで学んだ知識を活かし総合制作ができない			
【教科書】										
世界一わかりやすいHTML&CSSコーディングとサイト制作の教科書（技術評論社）										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
試験・課題、成果発表、平常点										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他